

令和5年6月30日  
京都市産業観光局  
〔産業イノベーション推進室〕  
TEL 075-222-3324  
(公財)京都高度技術研究所  
〔京都市ライフイノベーション創出支援センター〕  
TEL 075-950-0880

## 令和5年度 京都発革新的医療技術研究開発助成事業の採択結果について

京都市及び(公財)京都高度技術研究所では、ライフサイエンス分野における新技術・新産業の創出を図ることを目的に、市内の大学研究者及びスタートアップなどの中小企業者を対象として、革新的な医療技術に関する研究開発に助成を行う「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」を実施しています。

この度、本事業において、助成対象事業の募集を行ったところ、58件の応募があり、審査委員会での審査の結果、新たな医療機器や医薬品等の創出を目指す研究開発等、市内大学研究者や中小企業が取り組む革新的な研究開発を13件採択しましたのでお知らせします。

※ 本事業の財源には、iPS細胞等の再生医療技術をはじめとしたライフサイエンス分野の実用化・研究を支援する「ふるさと納税型クラウドファンディング」による寄付金の一部を活用しています。

(参考) 令和4年度クラウドファンディングの特設ページURL

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1933>

### 1 採択結果

	応募	採択
大学研究者	45件	10件
企業	13件	3件
合計	58件	13件

### 2 採択一覧(受付順)

#### (1) 大学研究者 10件

大学・研究者名	事業テーマ	助成予定額 (千円)
京都大学医学部附属病院 助教 村上 隆亮	質的・局在診断能を兼ね揃えたインスリノーマ診断法の開発	1,300
京都府立医科大学大学院 医学研究科 准教授 妹尾 恵太郎	生活習慣の是正プログラムを個人に適した形で提示するAIチャットボットのアルゴリズム開発	1,300

京都工芸繊維大学 応用生物学系 教授 片岡 孝夫	細胞傷害顆粒の高純度精製技術の 開発	1, 300
京都大学大学院 医学研究科 講師 入江 啓輔	発達障害児に併存する運動の不器 用さを治療するアプリケーション の開発	1, 300
京都橘大学 健康科学部 准教授 中野 英樹	脳卒中患者の運動機能回復を促進 させるマルチモーダル運動錯覚シ ステムの開発	1, 100
京都大学大学院 農学研究科 教授 保川 清	現場での RNA 検査の実現を目的 としたタンパク質工学による逆転 写酵素の改変	1, 300
京都大学大学院 薬学研究科 准教授 小川 治夫	GCCase 受容体を標的とした新規 薬剤開発のための基盤構築	1, 300
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 岩崎 有作	不安を低減させるための最適な求 心性迷走神経活性化手法の開発	1, 300
京都大学大学院 医学研究科 准教授 三好 弘之	患者がん組織からの簡便ながん細 胞分離法の開発	1, 300
京都大学医学部附属病院 講師 志水 陽一	ソマトスタチン受容体高発現腫瘍 の精密診断のためのデリバリー対 応型 PET 診断剤の開発	1, 300

(2) 企業 3件

企業・代表者名	事業テーマ	助成予定額 (千円)
株式会社ビークル 代表取締役 郷 保正	感染症ワクチンにおけるC抗原に よる増強作用の研究開発	1, 000
株式会社マイオリッジ 代表取締役 牧田 直大	血中投与後の肺塞栓リスクを低減 する細胞培養法の開発	1, 000
Xeno-Interface 株式会社 代表取締役 林 一広	医薬品化が困難な標的に対する開 発投資効率を向上させる架橋ペプ チドの創製	1, 000

## (参考) 京都発革新的医療技術研究開発助成事業

### 1 目的

京都市内の大学の研究者及び中小企業者を対象として、今後成長が期待される再生医療をはじめとするライフサイエンス分野において、新たな医療機器や医薬品等の創出につながる研究開発に助成を行うことで、新規事業展開等の「きっかけ」を提供し、市内ライフサイエンス産業の振興を図る。

### 2 対象事業

医療機器（アプリ開発含む）、医療材料、医薬品・診断薬、再生医療等のライフサイエンス分野の事業化に向けた研究開発

### 3 助成率・助成金額

(1) 助成率：100%

(2) 助成金額：上限100万円

(ただし、大学研究者で間接経費を含む場合は、上限130万円)

### 4 募集期間

令和5年4月3日（月）～同年4月24日（月）

### 5 助成期間

助成金交付決定日～令和6年2月末日（単年度）

### 6 採択実績

本助成事業については、平成23年度の開始から今年度で13年目を迎え、これまで応募769件、そのうち採択238件と、多くの大学研究者、中小企業者に活用いただいている。

(直近3箇年の実績)

令和4年度	申請件数47件	採択件数16件
令和3年度	申請件数51件	採択件数24件
令和2年度	申請件数69件	採択件数19件

### 7 主な事業化事例

【代表事例 マイキャン・テクノロジーズ株式会社（令和2年度採択）】

ヒト抹消血単核球由来研究用ミエロイド系細胞であるaMy1c細胞を利用した、機能性材料の安全性などのサイトカイン評価キット（研究用）を開発し、令和4年9月9日に発売開始。